製品安全データシート

作成日 2008年 6月24日
改訂日 2011年12月26日

1.製品及び会社情報

製品名	SANショット B材
会社名	オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電話番号	0594-72-6488
FAX番号	0594-72-6253
担当部門	製造部 工場管理課
整理番号	M4007

2.危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性
- 経口: 区分4
- 経皮: 分類できない
- 吸入（ガス）: 分類対象外
- 吸入（蒸気）: 分類できない
- 吸入(粉塵、ミスト): 分類できない

皮膚腐食性/刺激性: 区分1B

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分1

感作性
- 呼吸器: 分類できない
- 皮膚: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分1（呼吸器系）

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 分類できない

吸引性呼吸器有害性: 区分1

水生環境
- 急性有害性: 分類できない
- 慢性有害性: 分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷･眼の損傷
臓器（呼吸器系）の障害
飲み込んで気道に進入すると生命に危険のおそれ

注意書き:≪予防策≫
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保護手袋および保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないように、換気装置を使用し暴露を避けること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
指定された以外の材料と混合しないこと。
環境への放出を避けること。

≪対応≫

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
皮膚等に付着した場合：皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合は選択すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。
眼に入った場合：水で15分以上洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。
洗顔の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。眼の刺激が続く場合は、医師の手当を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
口をすすぐこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。特別処置が緊急に必要である。
漏　出　し た 場　合：漏出物を回収すること。

≪保管≫

涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
子供の手の届かない所に保管すること。

≪廃棄≫

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性:　本製品は強アルカリ性（pH13以上）のため、取扱いには注意すること。
想定される非常事態の概要：　強アルカリ性で環境にとって有害である。漏洩したときは魚介類、動物及び植物に対して有害な影響を与える可能性がある。

3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分：　混合物
成分及び含有量
(危険有害性物質を対象):

化学名又は一般名	含有量(%)	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS No.
アルミン酸カリウム	30～70	(1)-1201	-
水酸化カリウム	10 以下	(1)-369	1310-58-3
添加剤	5 以下	非公開	非公開
水	30～70	-	7732-18-5

PRTR法：該当しない
労安法：水酸化カリウム
毒物劇物法：水酸化カリウム

4.応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の診断を受ける。
呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 強アルカリ性の製品なので、石けんを用いず微温湯を流しながら皮膚の刺激や、ぬるぬるする感じがなくなるまで洗い続ける。1時間以上を要することがある。
速やかに医師の処置を受ける。

目に入った場合: この製品が目に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、貼った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な目の傷害を生じるおそれがある。洗顔の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は外して洗顔すること。
すぐには痛みがなく視力に影響がなくても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 清浄な水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の清浄な水または牛乳を飲ませる。
直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。
被害者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。

最も重要な兆候及び症状: 誤って飲み込めば、消化器官に広範囲の組織の破壊が起き、激痛、嘔吐、声門水腫、ショック等の症状があらわれる。
皮膚に腐食した場合、皮膚炎を起こし、激痛をともなう。

応急措置をする者の保護: 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5.火災時の措置

消火剤: この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤: 特になし

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/
保護具及び緊急時措置: 極めて腐食性が強いので、作業の際には必ず保護手袋、長靴、保護メガネ、有機ガス用マスク等の保護具を着用すること。多量の場合、人を安全に待機させる。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者の立入を禁止する。

封じ込め及び浄化の
方法・機材: 漏出したものは吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。多量の場合には盛土で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。下水溝、表流水、地下水に流してはいけない。
本製品は強アルカリ性なので、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。必要がさらにあれば希塩酸、希硫酸等で中和する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 取り扱いは、換気のよい場所で行う。
作業場の換気を十分行う。飛散した蒸気、ミストを吸い込まないようにする。
取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
取扱いの場所には、関係者以外の立入を禁止する。
眼、皮膚、衣類には付けないこと。
休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。
休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではならない。
指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。
長時間あるいは繰り返し皮膚等への接触を避ける。そのため、保護具(保護手袋、長靴、保護メガネ、有機ガス用マスク等)を着用する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
加熱しないように注意する。
拭き取る場合、不圧になるので栓を少し開いて内圧を除く。

冷却すると凝固するので、冬季には温度降下に注意する。
局所排気・全体換気: 取扱う場合は、出来るだけ局所排気内または全体換気の設備を設置して取扱う。
注意事項: 取扱い後は、顔、手、口等をきれいに洗う。また、衣服が汚れた場合には洗ってから着用する。袋の場合、破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。
安全取扱い注意事項: 強アルカリ性なので、酸性製品との接触を避ける。
酸及びアルミニウム、スズ、亜鉛、クロム等の金属との接触を避ける。

保管
適切な保管条件: 変質を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて常温で保管する。
缶の腐食を避けるため直接地面に置かない。(木製パレット等の上に置く)
容器は常に密閉して保管する。
小分けしない。もし本製品を小分けする場合はペットボトル等の誤飲のおそれのある容器を使わず専用の容器を使用し、製品名、取扱い及び保管上の注意事項を表示する。
安全な容器包装材料: 耐アルカリ性容器または内面を耐アルカリ処理した容器。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策: 屋内等通気の悪い場所では、換気及び局所集じんを行う。
取扱い場所近くに、目や身体を洗浄するための設備を設置する。
管理濃度: 労働安全衛生法・作業環境評価基準 2. 9mg/m^3
許容濃度: 日本産業衛生学会(2005年度版) 水酸化カリウム 2mg/m^3
ACGIH(2005年度版) 水酸化カリウム TLV－TWA C 2mg/m^3

保護具
目の保護具: 保護眼鏡(T8147)(密閉型ゴーグル)
手の保護具: 化学防護手袋(T8116)、耐薬品製保護手袋
(ラテックスアレルギーの方は天然ゴム製の手袋を使用しないで下さい。)
呼吸器の保護具: 防毒マスク(T8152)
皮膚及び身体の保護具: 化学防護服(T8115)、化学防護長靴(T8117)、保護長靴(ゴム長靴)

9.物理的及び化学的性質

形状: 液体
色: 淡黄色
臭い(臭いの閾値): 無臭
pH: 13 以上(20℃)
融点／凝固点: データなし
沸点、初留点と温度範囲: 分解
引火点: 関係なし
自然発火温度(発火点): データなし
燃焼又は爆発範囲(下限): 燃焼しない
燃焼又は爆発範囲(上限): 燃焼しない
蒸気圧: 関係なし
比重(相対密度): 1.50～1.60 g/cm^3(20℃)
溶解性: 水に易溶
その他データ: なし

10.安定性・反応性

安　　定　　性: 通常条件では安定。
危険有害反応可能性: 酸と反応し、中和熱を発生する。
アルミニウム、スズ、亜鉛、クロム等の金属と反応し、可燃性の水素を発生し、爆発することがあるので注意する。

避 け る べ き 条 件: データなし

混 触 危 険 物 質: データなし

危険有害な分解生成物: データなし

11.有害性情報

有害性情報

急　　性　　毒　　性: 水酸化カリウム 経口 ラットLD$_{50}$ 273mg/kg

皮 膚 腐 食 性 / 刺 激 性: 皮膚に付着すると炎症を起こす可能性がある。
皮膚刺激 ウサギ 50mg/24h 重度
ヒト 50mg/24h 重度

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 眼に重大な障害を及ぼす危険性がある。
水酸化カリウム 眼刺激 ウサギ 1mg/24h 中等度

呼吸感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器を刺激する可能性がある。

生殖細胞変異原性(変異原性): データなし

発　　が　　ん　　性: 水酸化アルミニウム IARC 区分1 ヒトに対して発ガン性が有る。
ACGIH 区分A4 発がん性物質として分類できない物質。

生　　殖　　毒　　性: データなし

特定標的臓器/全身毒性
(単回、反復暴露): データなし

吸引性呼吸器有害性: データなし

そ の 他 情 報: データなし

12.環境影響情報

生　　態　　毒　　性: アルカリ性のため水生生物に有害である。
残 留 性 / 分 解 性: データなし
生　体　蓄　積　性: データなし
土 壌 中 の 移 動 性: 物理化学的性質から見て、水域(水質、底質)、土壌環境に移動しうる。
他 の 有 害 影 響: データなし

13.廃棄上の注意

残　余　廃　棄　物 / 汚　染　容　器: 「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って処理する。
撹拌しながら、水を加えて希薄な水溶液を落として、酸(希塩酸、希硫酸等)で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
内容物/容器を都道府県知事の規則に従って廃棄すること。
外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に特別管理産業廃棄物(廃アルカリ)として処理を委託する。
製品の廃棄は、廃棄物の処理および清掃に関する法律の汚泥の処理基準に基づき廃棄する。洗浄水の排水は、水質汚濁防止法に基づき処理を行う。
空容器は、そのまま再利用や廃棄処分しない。
廃棄や再利用する場合は、内容物が無くなるまで洗浄し、洗浄液は無害化処理する。
容器の廃棄は残余廃棄物と同様、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策

及び条件: 転倒、落下、破損のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。
荷役作業は慎重丁寧にし、容器に打撃や衝撃を与えないよう取扱う。
車両に積載する場合、酸類から遠ざける。また、有機薬品の上に積み重ねてはならない。
運送中は容器が横転しないように積載し、休憩時など盗難・紛失に注意する。
ローリーまたはコンテナの場合、充填または払出時は保護メガネ、ゴム手袋、保護衣等の保護具を着用し、充填または払出パイプ中に液を残さないようにする。
5t以上の量を車両で運搬する場合は、交換運転者、標識、保護具、緊急時の措置を記載した書面等、毒劇取締法により定められた事項を遵守すること。
船舶安全法に定めるところに従う。
航空法に定めるところに従う。水濡れ厳禁。

国内規制: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

国連番号: 3289

応急措置指針番号: 154

国連分類: 水酸化カリウム　クラス8　(腐食性物質)

容器等級: 該当しない。

15.適用法令

労働安全衛生法: 腐食性液体(労働安全衛生規則326条)水酸化カリウム
法第57条の2通知対象物(水酸化カリウム　政令番号　316)

労働基準法: 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則台5条・別表第1の2第4号1・昭53労告36)水酸化カリウム

化学物質管理促進法: 該当しない

毒劇物取締法: 劇物(指定令第2条)水酸化カリウム

消防法: 該当しない

化審法: 該当しない

船舶安全法: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)水酸化カリウム

航空法: 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)水酸化カリウム

海洋汚染防止法: 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)水酸化カリウム

水質汚濁防止法: 該当しない

水道法: 該当しない

土壌管理基準: 該当しない

道路法: 車両の通行の制限(施行令第19条の13日本道路公団公示)水酸化カリウム

16.その他情報

引用文献　独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)公表データ
(社)日本塗料工業会「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」
原材料製造会社の製品安全データシート

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。